

お知らせ

がんの検出をサポートする最新の

AI内視鏡システム 導入

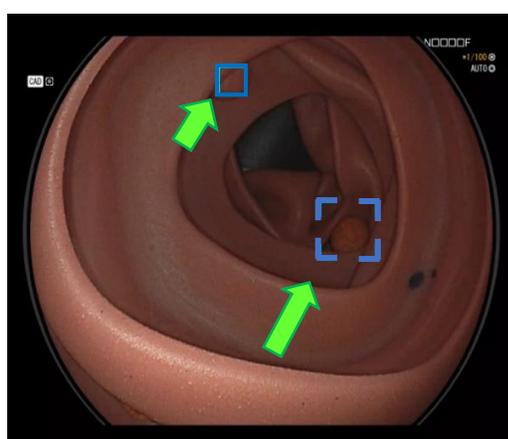


10月から当院の内視鏡システムが最新式になりました。

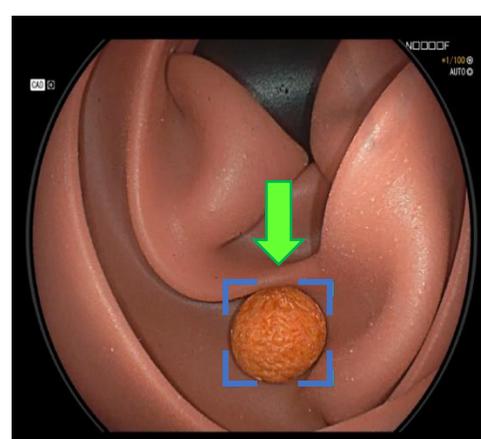
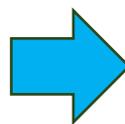
導入した内視鏡画像診断支援システムとは、AI（人工知能）を活用して、病変の発見や鑑別を支援するシステムです。胃・食道・大腸の内視鏡検査中に、AI（人工知能）がリアルタイムで画像を解析します。

検査時のモニターに映し出される内視鏡映像に、「がんの疑いがある部分を検出」することで医師の診断を支えます。

内視鏡検査医の目と内視鏡 AI システムの目、この2つの目で病変を拾い上げます。



(AIで拾い上げ)



(医師による確認)

AI内視鏡による病変検出、疾患鑑別サポートにより、従来よりもさらに病変の見逃しを減らし、早期からポリープや病変が疑われる部分を入念に確認する事が可能になりました。

気になられた方は、お近くの職員まで気軽にお声掛け下さい。

2024年10月1日
高田中央病院消化器疾患内視鏡センター